



十和田市立中央病院

病院ニュース さわらび

平成 28 年 3 月 28 日号

がん相談支援センター主催 『がんサロン』を新たに開設しました。

皆さんは「がんサロン」をご存知ですか？がんサロンは、がん患者さんやそのご家族が互いに療養上の悩みを語り合い、情報交換を行う場として、現在、がん診療連携拠点病院を中心に広く全国各地で開催されています。

一般的に会費や入会が必要な患者会とは異なり、**参加は自由で、気軽に立ち寄れるというのが特徴となっています。**

お茶を飲みながら語り合うだけでなく、がんと療養生活についての勉強会や、音楽を通じたイベント交流など多様なサロンが全国展開されており、県内のいくつかの病院でも開催されるようになりました。

当院でも、「まずは個人で気軽に参加したい。」という患者さんの声や潜在的ニーズへ対応するため、がん相談支援センター『がんサロン』を平成 28 年 3 月から毎月開催することとなりましたので、どうぞお気軽にご参加ください。

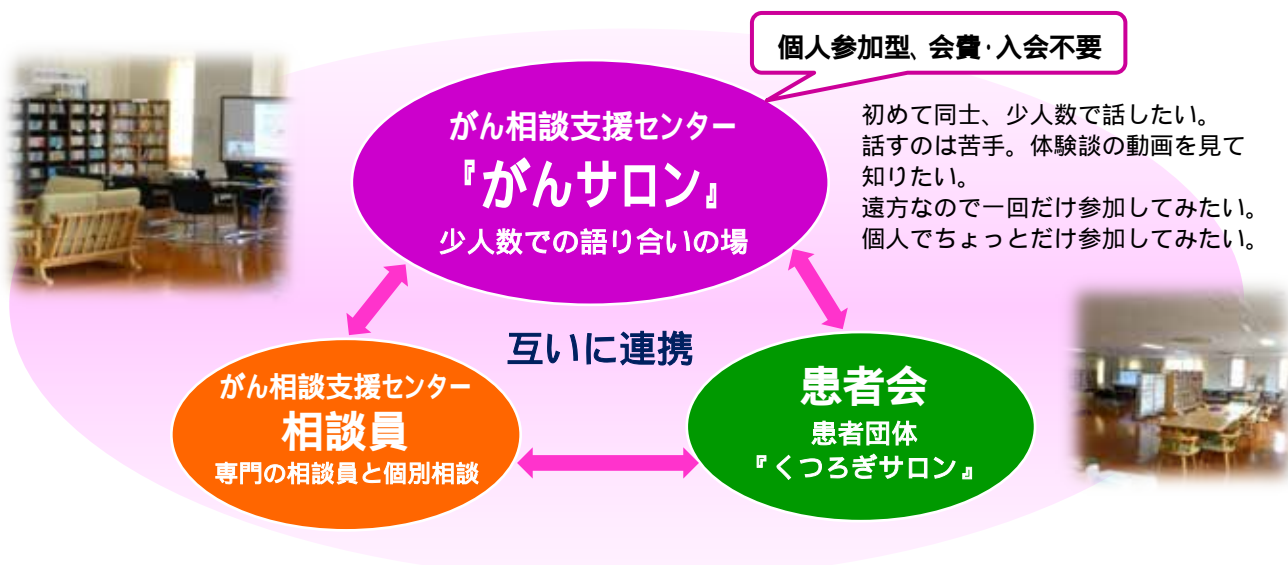
【当院のがんサロン】

日時：毎月第 1 水曜日 14 時～16 時 【別館 1 階 医療情報センター（患者図書室）】

対象：がんを体験された方・そのご家族（他院で治療された方でも参加可能です。）

内容：体験談 DVD 等の視聴や、参加者同士の交流の場を提供いたします。開催日や内容は当院ホームページやチラシ等でご確認ください。 **（現在準備中）**

申込：会費・入会は不要。開催 2 日前までに FAX またはお電話でお申し込みください。



主催・問合せ先：がん相談支援センター（地域医療連携室内）内線 2066

この度、一身上の都合で突然、退職する事になりました。

思えば、十和田市が三本木市であった頃にこの地に来て、30年ぶりに医者としてまた十和田市に参りました。以来、30年近く脳外科の医師として馬車馬のように猛進してきました。振り返るといつの間にか還暦になり、定年となりました。これから、どう生きようかと考えた時、自分ではなれそうも無い生き方を考えました。『のほほん のほほん スッポンポン』でしたが...案の定、出来ませんでした。

手術から離れ違う畑で仕事をする事で、いろいろな事が見えてきました。

「目から鱗」でいろいろな事を勉強しました。患者の立場を知り、その中から予防医学の大切さを知り、かねてから取り組みたかった健診、特に脳ドックに関心を持っていた事が実現できると思った時、前事業管理者の蘆野先生に誘われ十和田に再度舞い戻ってきました。5年の間に1000余例の方々の健診をさせて頂きました。数としては決して多数ではありませんが、説明の時間を多く取って受診者の意見も沢山聞けました。その中でも受診者の方々の、背景・心情を聞き出せた事が一番の収穫でした。贅沢な診察でしたが、忙しい診察の中で、医者と話が出来ない事のつらさが患者さんには根強く残っています。

突然、脳ドックが出来なくなるのは心苦しいことですが、リピーターも増えているので、脳外科の医師が忙しい中、脳ドックを引き継いでくれる事になりました。本当に感謝しています。

とにかく症状が無いうちに病気をみつけて治療する事が、健康寿命を伸ばす秘訣と思います。脳ドックを含め、健診医療を着実に進めてくださるようお願いします。

これまでお会いできた全ての人に感謝いたします。



お知らせ



講演会開催のご案内

と き：平成 28 年 4 月 8 日（金）
18：30～19：30

ところ：十和田市立中央病院
別館 2 階講堂

演 題：『子宮頸癌 / 子宮体癌の
ロボット支援手術の現状』

講 師：弘前大学大学院医学研究科
産科婦人科学講座
准教授 横山良仁先生



今月のアート



「ありがとうございました。
バイバイ、バイバイ...」

いしんこ地蔵さん / 畑中 光昭